



いのちのたび



〒805-0071 北九州市八幡東区東田二丁目4番1号
Tel 681-1011 Fax 661-7503
HP <https://www.kmnh.jp/>
発行：いのちのたび博物館 ミュージアムティーチャー

秋も一段と深まり、山々が鮮やかに紅葉する季節となりました。読書の秋、学習の秋、そして、歴史や自然にふれる絶好の季節です。この秋、「いのちのたび博物館」で知的な好奇心を高めてみてはいかがでしょうか。

博物館では、秋の特別展「鉄の都のものがたり—釜石と八幡—」が始まりました。皆様のお越しをお待ちしています。

2021年 秋の特別展

「鉄の都のものがたり—釜石と八幡—」



見どころを紹介するよ!

開催期間 10月15日～11月28日

※ 常設展チケットで入場できます。

釜石(岩手県)と八幡は、鉄づくりを支えてきた日本の柱じゃ。釜石と八幡が「鉄の都」と呼ばれるようになった歴史や、人々の知恵と努力の記録を確かめてみてはいかがでしょうか? また、震災復興やスポーツを通して、北九州市と釜石市との関係も分かる。さあ、博物館で皆を待っております!



鉄の都「釜石」

釜石市鳥瞰図(吉田初三郎画)昭和25年



鉄の都「八幡」

八幡市鳥瞰図(吉田初三郎画)昭和8年



第1・第2高炉(釜石)1913年



復興支援やラグビーでの交流

救済物資搬入

親善招待試合



東田第一高炉(伊藤博文・井上馨来所)

九州製鉄株式会社

歴史ぽけっとミュージアム企画展

開催期間 11月6日～令和4年3月31日

「わくわくタイムトラベル いま・むかし」

道具の変化により、人々の生活が大きく移り変わる様子を紹介します。展示物は、小学3年生の社会科学習「わかる道具とくらし」にも対応しています。また、新旧の給食献立も展示していますので、懐かしさを感じる方もいらっしゃるでしょう。ぜひ、皆様で博物館へお越しください。

およそ100年前



たらい

ちやぶ台

およそ50年前



洗濯機

アイロン

昔の給食



大正12年頃の給食



明治時代の給食



ミュージアムのタネ

伝説の泉「満千の潮」—地球：宇宙の中の惑星—

北九州市には、これまで“大地の宝”として知られる天然記念物(地質・鉱物)が5つありました。千仏鍾乳洞、平尾台、夜宮の大珪化木、梅花石岩層(附 梅花石大形置物)、岩屋・遠見ヶ鼻の芦屋層群です。

令和3年7月9日、小倉南区頂吉にある「満千の潮」が、福岡県の天然記念物に指定され、“大地の宝”が6つになりました。博物館では、これを記念して、この泉の不思議を紹介する速報企画展示を実施しています。是非、ご覧ください。

ところで、「満千の潮」は、カルスト性間欠冷泉(二酸化炭素を含んだ水に溶ける性質を持つ石灰岩に由来する間欠する冷泉)で、約3億年前のサンゴ礁の生き物が作り出したカルスト台地「平尾台」にほど近い「満千谷」に位置します。古くから、この地域には“満月の満潮に満ちる”「満千の潮」の存在が語り継がれてきました。近年、この付近の地質調査やモニタリング調査が実施されてきましたが、この度、当館の藤井厚志名誉館員により、地下水の湧き出す仕組みに、地球潮汐(地球が月や太陽の影響を受け周期的に変形する現象)が関与していることが明らかにされました。伝説の泉「満千の潮」は、月や太陽の影響による周期的な大地の収縮が原因の一つとして考えられます。石灰岩の割目に貯留した地下水や、石灰岩中の地下水路(管路)の流れに変化が生じ、湧き出し口の近くの曲がった管路がサイフォン(曲管)として働くことで、時おり、湧き出すことがわかりました。また大規模に湧き出す時の水の総量は、25mプールの2~3杯分(700m³以上)にも達することがわかり、国内最大であることもわかりました。

以上のように、この間欠冷泉は、高い学術的価値を有し、地域の伝説が科学的に検証された稀有な事例であることなどから、未来の子どもたちに、長く守り、伝えていくべき“大地の宝”として天然記念物の指定に至りました。

大地に降る雨水は、大地を削り、礫や砂や泥を運び、大地をつくりだします。石灰岩地帯では、石灰岩を溶かし、地下を流れ、地上に流れ出したり、湧き出したりします。北九州市では、生き物が作り出した大地の不思議を感じ取ることができます。また地球が宇宙の星々として存在していることさえも感じ取ることができます。



<写真> 博物館では、速報企画展示「(祝・決定)福岡県天然記念物指定 伝説の泉『満千の潮』」として、動画を交え『満千の潮』を解説しています。

(自然史課学芸員 太田泰弘)